

# 首都圏廃棄物処理 改善計画

## 実施地域

ヴィエンチャン

### 1. プロジェクト要請の背景

ラオスの首都ヴィエンチャンでは、廃棄物収集がほとんど行われておらず、未収集の廃棄物はメコン河や排水溝に投棄・放置されたままとなっており、病害虫や悪臭の発生など、環境衛生上重大な問題となっていた。

このような状況のもと、ラオス政府はヴィエンチャン市の廃棄物処理システムの整備、及び同市の衛生環境の改善を図るべく、我が国に無償資金協力を要請した。

### 2. プロジェクトの概要

#### (1) 協力期間

1996年度

#### (2) 援助形態

無償資金協力

#### (3) 相手側実施機関

ヴィエンチャン市

#### (4) 協力の内容

##### 1) 上位目標

ヴィエンチャン市において、廃棄物処理システムが構築され、衛生環境が改善される。

##### 2) プロジェクト目標

ヴィエンチャン市において、廃棄物処理が改善される。

##### 3) 成果

- 廃棄物収集・運搬・埋立用機材を整備する。
- 最終処分場を整備する。
- 廃棄物収集・運搬・埋立用機材の修理・整備場



を建設する。

#### 4) 投入

##### 日本側

E / N 供与限度額 7.05 億円

##### ラオス側

カウンターパート 187 名

最終処理場、修理・整備場の用地

ローカルコスト

### 3. 調査団構成

運営状況調査：小路 克雄 JICA 無償資金協力業務  
部フォローアップ業務課課長代理

施設調査：坂井 五郎 JICA 無償資金協力調査部調  
査審査課課長代理

### 4. 調査団派遣期間(調査実施時期)

1999年1月26日～1999年2月3日

### 5. 評価結果

#### (1) 効率性

適切な工程管理により、最終処分場と廃棄物収集機材整備場の建設工事、ならびに廃棄物処理機材の調達は、予定期間内に完了した。

#### (2) 目標達成度

ラオス側は、整備された機材、施設を使用し、廃棄物収集・処理事業を開始しており、所期の目標は達成された。

#### (3) 効果

本プロジェクトの実施により、ヴィエンチャン市の廃棄物収集・処理システムの確立を促した。廃棄物収集事業の対象地域における廃棄物収集、最終処分場で

の処理などが改善され、住民の生活環境改善にも効果を上げている。

#### (4) 計画の妥当性

本プロジェクトは、我が国の開発調査によって策定された「ヴィエンチャン市都市化区域廃棄物処理基本計画」のなかで、短期目標として位置づけられた優先プロジェクト「短期改善計画」に沿って実施されたものであり、計画は妥当であると判断される。

#### (5) 自立発展性

必要な予算措置や人員配置がなされており、機材の維持管理は適正に行われている。また、ヴィエンチャン市側は、必要な機材を自己資金で購入し、部品管理や料金徴収の体制も整備する等、健全な運営に努めている。さらに、廃棄物収集の契約者を着実に拡大し、自己資金によって廃棄物収集コンテナを購入するなど事業の拡大を図ろうとしていることから、自立発展性は高いといえる。

### 6. 教訓・提言

#### (1) 提言

本プロジェクトでは、予算の制約により、機材調達段階で十分なスペアパーツを確保できなかったため、ラオス側への引き渡し後1年を経過したばかりであるが、スペアパーツの在庫が少なくなっている。「ヴィエンチャン市都市化区域廃棄物基本計画」を推進し、ヴィエンチャン市の廃棄物収集・処理事業を軌道に乗せる重要な時期であり、スペアパーツの調達を含め、フォローアップを検討することが望ましい。

### 7. フォローアップ状況

1999年3月より6か月間、「廃棄物処理運営管理」の短期専門家を派遣するとともに、1999年4月より2年間、「土木施工」の青年海外協力隊員を派遣し、廃棄物処理場の建設に関する技術指導を実施している。



整備されたゴミ収集車を用いて廃棄物を回収している



整備されたゴミ収集車を用いて廃棄物を回収している